

公益社団法人 日本地震工学会 第13回理事会議事録

A. 日時：2014年12月10日（水）17時00分から20時00分

B. 場所：専売ビル 8F 第1会議室（東京都港区芝5-26-30）

C. 出席者：（会長）安田 進

（副会長）志波由紀夫，山崎文雄，福和伸夫

（担当理事）新海 元，副島紀代，和泉信之，藤川 智，藤原広行，小檜山雅之，
久田嘉章，境 茂樹，横井俊明，古屋 治，鳥井信吾，片岡正次郎

（欠席）佐藤正行，年縄 巧，澤田純男，塚本良道，五十嵐克哉，小林信之
オブザーバー出席：目黒公郎次期会長，吹野美絵事務局長

D. 提出資料

資料 13-01 第12回理事会議事録（案）（副島理事）

資料 13-02 会務報告（新海理事）

資料 13-03-1 会計報告（収支予算管理月報）（和泉理事）

資料 13-03-2 会計報告（収支決算予測および調査研究委員会予算執行状況）（和泉理事）

資料 13-04 次期「監事候補」選挙の投票について（藤川理事）

資料 13-05 第14回日本地震工学シンポジウムの速報（塚本理事）

資料 13-06 日本地震工学会 大規模被害地震等への取組みの記録（安田会長）

資料 13-07 2014年11月22日に発生した長野県北部の地震への対応（志波副会長）

資料 13-08 入退会者（藤川理事）

資料 13-09 共催・後援・協賛等（副島理事）

資料 13-10 日本地震工学会地震災害対応活動に関する規程（志波副会長）

資料 13-11 法人会員の勧誘について（藤川理事，片岡理事）

資料 13-12 日本地震工学会27年度年次大会開催場所候補について（古屋理事）

資料 13-13 兵庫県南部地震20年シンポジウムについて（境理事）

資料 13-14 若手研究者座談会について（志波副会長）

資料 13-15 震災対策技術展・震災予防講演会について（境理事）

資料 13-16 事業企画委員会報告（鳥井理事）

資料 13-17-1 2014年度活動報告書のまとめについて（新海理事）

資料 13-17-2 活動報告書作成例【参考】（新海理事）

資料 13-17-3 2015年度アクションプラン等作成の依頼について（副島理事）

資料 13-17-4 アクションプラン作成例【参考】（副島理事）

資料 13-17-5-1 委員会活動計画案【参考】（副島理事）

資料 13-17-5-2 予算原案【参考】（副島理事）

資料 13-20 論文編集委員会報告（年縄理事）

資料 13-21 情報コミュニケーション委員会報告（小檜山理事）

資料 13-22 「東日本大震災合同報告書原子力関連編」合同報告会（安田会長）

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 第 12 回理事会議事録（案）確認（副島理事，資料 13-01）

副島理事より資料 13-01 を用いて「第 12 回理事会議事録（案）」について説明があり，本内容にて了承された。

2) 会務報告（新海理事，資料 13-02）

新海理事より，資料 13-02 を用いて，10 月 22 日～12 月 10 日までの会務報告がなされた。

3) 会計報告（和泉理事，資料 13-03-1～2）

和泉理事より，資料 13-03-1 および資料 13-03-2 を用いて，今年度 11 月末日までの予算執行状況および現時点での収支決算見込が報告された。

4) 選挙管理委員会からの報告（次期監事選挙）（藤川理事，資料 13-04）

藤川理事より，資料 13-04 を用いて，1 月に実施予定の次期「監事候補」選挙の候補者ならびに投票日程等について報告された。

5) 第 14 回日本地震工学シンポジウムについて（速報）（山崎副会長，資料 13-05）

山崎副会長より，資料 13-05 を用いて，12 月 4 日～6 日に開催された第 14 回日本地震工学シンポジウムについて報告された。

6) 日本学術会議学術フォーラムについて（安田会長，資料 13-06）

安田会長より，資料 13-06 を用いて，11 月 29 日に開催された日本学術会議学術フォーラムの様子が報告された。

7) 長野県神城断層地震について（志波副会長，資料 13-07）

志波副会長より，資料 13-07 を用いて，11 月 22 日に発生した長野県北部の地震に対する学会としての対応について報告があった。

E 2. 議案

第 1 号 入退会者（藤川理事，資料 13-08）

藤川理事より，資料 13-08 により「入退会者」の報告がされ，2014 年 12 月 10 日現在，新規入会者は正会員 2 名，学生会員 4 名，法人会員 2 社，学生会員から正会員への転格者 1 名，退会者は正会員 3 名，学生会員 1 名が承認された。

以上の結果，個人会員数は，名誉会員 28 名，正会員 1,124 名，学生会員 113 名で，総数は個人会 1,265 名，法人会員 106 社となることが確認された。

第 2 号 共催・後援・協賛等（副島理事，資料 13-09）

副島理事より，資料 13-09 により，以下に示す後援(2 件)，協賛(2 件)の報告があり，承認された。

- ・後援依頼：断層変位評価に関するシンポジウム
(2015年7月3日開催，主催：土木学会 原子力土木委員会)
- ・後援依頼：地盤の動的解析－基礎理論から応用まで－講習会
(2015年1月22日開催，主催：地盤工学会)
- ・協賛依頼：第12回 SEGJ 国際シンポジウム Geophysical Imaging and Interpretation
(2015年11月18日～11月20日開催，主催：物理探査学会)
- ・協賛依頼：「地震防災フォーラム2015」
(2015年1月9日開催，主催：関西地震観測研究協議会)

E 3. 懇談事項

10) 「地震災害対応活動に関する規程」の見直し（志波副会長，資料 13-10）

志波副会長より資料 13-10 を用いて，「地震災害対応活動に関する規程」の見直し案について説明があった。今回の長野県北部の地震での対応活動を通して，より実効的な規程となるよう適宜改善することとなった。

11) 法人会員の入会について（藤川理事，片岡理事，資料 13-11）

藤川理事より資料 13-11 を用いて，法人会員の勧誘状況について説明があった。対象企業等の一部は入会していただいたので，引続き勧誘活動を行うこと，実施に当たっては各理事が協力することが確認された。

12) 日本地震工学会年次大会-2015 について（古屋理事，資料 13-12）

古屋理事より資料 13-12 を用いて，平成 27 年度大会実施案について説明があった。次年度は当学会の特徴である分野横断型の交流を目的として，開催形式を「B：基調講演とポスターセッション」とすることとなった。また，開催地は時期的な事情も鑑み，次年度は東京で開催することとし，地方開催は次々年度以降に検討することが確認された。具体的な開催時期および開催場所は，大会実行委員会にて検討の上，次回理事会で決定することとなった。

13) 兵庫県南部地震 20 年シンポジウムについて（境理事，資料 13-13）

境理事より資料 13-13 を用いて，1/24 に開催予定の兵庫県南部地震 20 年シンポジウムについて説明があった。

14) 若手研究者座談会について（志波副会長，資料 13-14）

志波副会長より資料 13-14 を用いて，将来構想委員会が企画し 12/12 に開催予定の若手研究者座談会について説明があった。座談会の様子は会誌 2015 年 2 月号に掲載予定である。

15) 震災対策技術展・震災予防講演会について（境理事，資料 13-15）

境理事より資料 13-15 を用いて，2015 年 2 月に横浜で開催される「第 19 回震災対策技術展」「第 5 回震災予防講演会」の企画内容について説明があった。また事業企画委員会としての今

後の震災対策技術展（横浜、大阪、仙台）の対応について、事業企画委員会が中心にはなるものの各方面の協力が不可欠であるとの説明があり、実施体制については今後も検討していくこととなった。

16) 事業企画委員会からの報告（鳥井理事，資料 13-16）

鳥井理事より資料 13-16 を用いて、事業企画委員会の活動状況について報告があった。

17) 2014 年度活動報告，2015 年度活動計画，2015 年度予算の作成について

（新海理事，副島理事，資料 13-17-1～5）

新海理事より資料 13-17-1～2 を用いて、2014 年度の活動報告書作成に関する説明があった。また、副島理事より資料 13-17-3～5 を用いて、2015 年度の活動計画案、アクションプラン、予算原案の作成に関する説明があった。各担当理事は各部会、委員会等の書類を作成し、いずれの書類も 1 月 19 日までに総務理事および事務局まで送付することが確認された。

18) 国際委員会からの報告（横井理事）

（特に報告事項なし）

19) 会誌編集委員会からの報告（久田理事）

久田理事より、会誌編集委員会の活動状況が報告された。

20) 論文集編集委員会からの報告（新海理事，資料 13-20）

欠席の年縄理事に代わり、新海理事より資料 13-20 を用いて、論文集編集委員会の活動状況および論文集特集号（津波特集号，JEES 特集号，強震動特集号）の進捗状況について報告があった。

21) 情報コミュニケーション委員会からの報告（小檜山理事，資料 13-21）

小檜山理事より資料 13-21 を用いて、情報コミュニケーション委員会の活動状況について報告があった。また、第 13 回日本地震工学シンポジウムの URL が期限切れとなるので、JAEE のウェブサイト書庫に移動する旨アナウンスがあった。

22) 「東日本大震災合同報告書 原子力関連編」合同報告会（境理事，資料 13-22）

境理事より資料 13-22 を用いて、2/13 に開催される東日本大震災合同報告書・原子力関連編合同報告会について案内があった。

次回予定：日時：平成 27 年 3 月 12 日（木） 17:00～20:00

場所：建築会館 302 会議室

記録担当：総務理事 副島 紀代